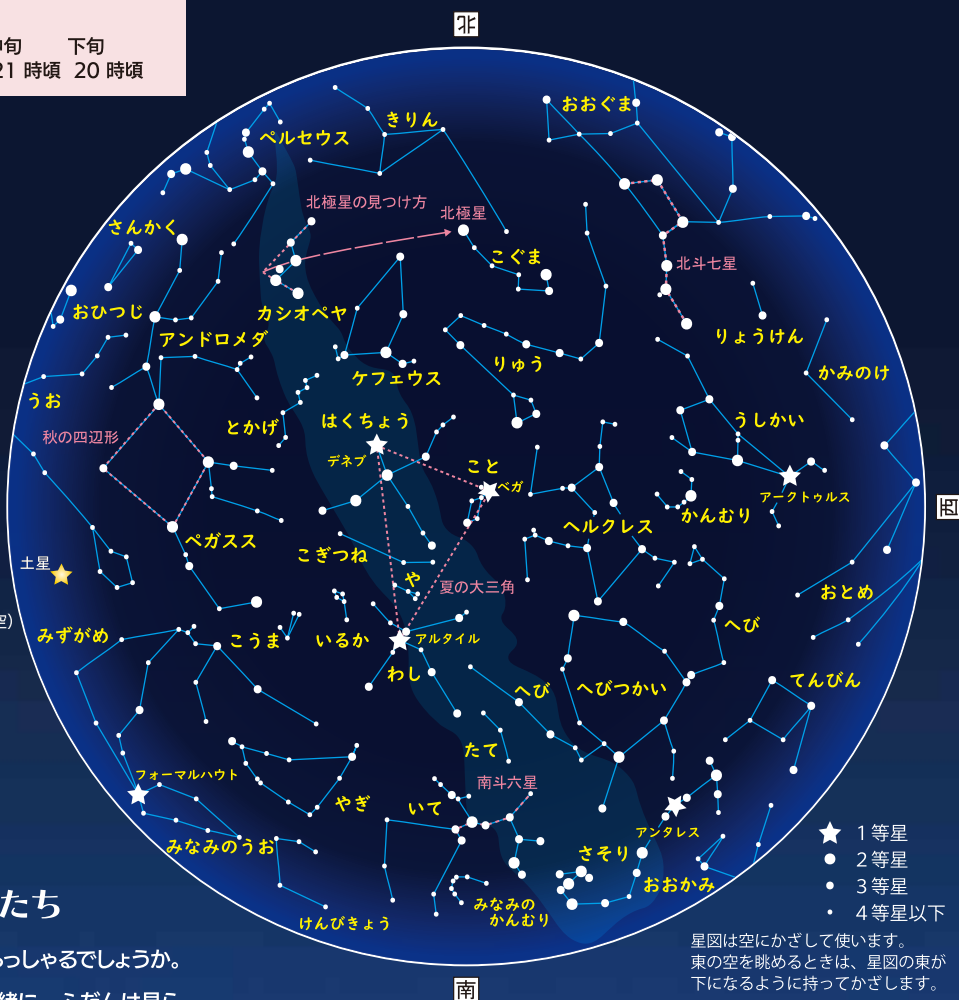


天文現象など

- 8/1 上弦 ☾
月面 X(エックス) が見られる
- 8/4 月とアンタレスが並ぶ
- 8/8 ~ 17 金星と木星が並ぶ (明け方、東の空)
- 8/9 満月 ●
- 8/12 月と土星が並ぶ
- 8/13 ペルセウス座流星群が極大
(12日深夜~13日の夜明け頃)
- 8/16 下弦 ☾
すばる食 (23時頃~17日午前1時頃、東の空)
- 8/19 水星が西方最大離角
- 8/20 月、木星、金星、ポルクスが並ぶ
(明け方、東の空)
- 8/21 月、水星、金星、木星が並ぶ (明け方、東の空)
- 8/23 新月 ☾
- 8/26 月と火星が並ぶ (夕方、西の空)
- 8/27 月とスピカが並ぶ (夕方、西の空)
- 8/29 伝統的七夕
- 8/31 上弦 ☾
月とアンタレスが並ぶ

星空ワンポイント▶▶小さな星座たち

お盆休みや夏休み、どこかへ泊りがけて出かける方もいらっしゃるでしょうか。もしもそこがたくさん星の見えるところなら、天の川と一緒に、ふだんは見られない暗くて小さな星座を探してみてもいいかもしれません。比較的形の整った「や座」や「いるか座」は、夏の大三角を目印にすると見つけやすいですよ。



星図は空にかざして使います。
東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。



ポイント解説

天の川を見よう

淡く白っぽい、光の帯のように見える天の川。この夏休み、天の川観察に挑戦してみたい方が多いでしょう。まず、観察をする場所選びが大切です。天の川は明かりの多い都会では見ることはできません。街明かりがない暗い場所で、視界の開けた場所を事前に探しておきましょう。さらに、天の川観察に重要な条件は、よく晴れていて月明かりの影響が少ないことです。特に新月の前後数日間が適していますが、難しい場合は月が沈んだ後や月が昇る前の時間帯をねらいましょう。なお、月がなくても空が明るくては天の川を見ることはできません。夕焼けなどの影響がなくなる21時以降を目安にすると良いでしょう。夏の夜、天の川は南から東にかけて見えています。暗い場所に目が慣れてくると、より多くの星が見えてきます。



撮影場所：宮城県蔵王町

全編生解説プラネタリウム
宇宙大爆発
—生命誕生—

プラネタリウムで「大爆発」を目撃しよう！
宇宙船に乗って生命誕生に関係する宇宙の爆発を体験します。カウントダウンをしながら、普段は決して見ることでできない爆発の様子を見届けましょう。

投影期間 8月31日(日)まで
対象 どなたでも (小学2年生以下は保護者と観覧)

2025.8

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 観望会
3	4	5	6 特別放映「水木サンのみた暗闇一めりかへに遣った夜」	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

各日のイベント・投影の内容や参加方法については
当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください



多摩六都科学館
Tamarokuto Science Center



イベントカレンダー